

大好きなこのまちを
もっと**素敵**にいつまでも**豊かに**

宮崎の未来を 咲かせる人になる!

宮崎版SPARC未来共創教育プログラム

GUIDE BOOK (令和7年版)



人も気候も穏やかで、美味しいものもたくさんある宮崎。観光地としてはもちろん、日々の暮らしの場としても魅力たっぷりの場所です。一方で、大学進学や就職を機に県外に出ていく人が多いという課題も。「愛着のある宮崎でずっと暮らしたいけど、興味ある学びのことを考えると、地元を離れなければいけないかも……」「宮崎に住んでみたいけど、仕事のことを考えると難しいのかな……」と考えている人も多いかもしれません。

若者のそんな悩みを解決し、なおかつ宮崎を今以上に魅力ある場所にすることをめざして地域の大学や産業界、行政、そして金融機関が力を結集して取り組むのが、「宮崎版SPARC未来共創教育プログラム(以下、宮崎SPARC)」です。育成するのは、宮崎の豊かな未来を創り出す人。もちろん、活躍の舞台は宮崎です。若者が住み続けたいくなるまち、日本全国や世界から人々が訪れたいくなるまちを、宮崎SPARCでの学びを通してあなたの手で創ってみませんか？

SPARCとは？

大学と企業や団体が一体となり、地域社会のニーズにマッチした人材を育成する取り組みが「地域活性化人材育成事業～SPARC(スパーク)～」。地域の課題や目標に基づいてカリキュラムが設計されていることや、地域の教育機関や産業界などが連携して学びを提供することが特徴です。文部科学省によって令和4年度から開始され、宮崎県をはじめ全国6地域で実施されています。

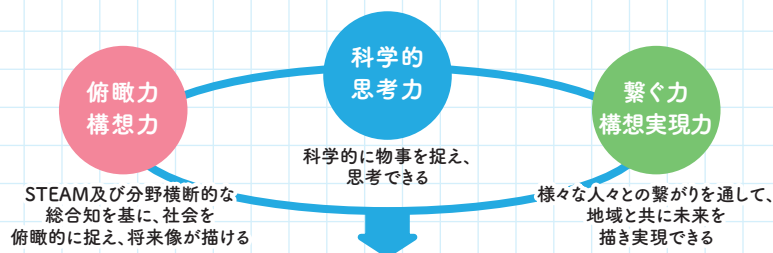
Q 宮崎SPARCで学ぶメリットは？

A 宮崎の地域社会が求める「未来共創人材」になることができます

宮崎SPARCが育成する「未来共創人材」とは、様々な人々と協働して、未来に向けた新しい価値観を提供できる人材のこと。具体的には、右の図に示したとおり3つの力を備え、地域社会の未来を支えることが期待されています。

現代は変化のスピードが速く、先行きを見通しにくい「VUCAの時代」と呼ばれています。このような時代においては、「宮崎の強みを活かした農林水産業・フードビジネス」「地域産業を強くするDX・AI」「グローバルビジネス」「未来を見据えた地域教育」など、多様な分野で持続可能な地域づくりを支える人材、すなわち未来共創人材の育成が不可欠となっています。

「未来共創人材」に必要な3つの力



「未来共創人材」ってこんな人

時代の変化に目を向け、柔軟に戦略立案・意思決定ができる

事業拡大やイノベーションに挑戦し、企業や地域等を支えることができる

自ら主体的・積極的に価値を創造するチャレンジマインドが持てる

横断的で広い視野を持ち、多様な人と繋がり、巻き込むことができる

SPARC未来共創教育プログラムを修了すると

▶ SPARC未来共創教育プログラム修了証の授与

▶ 県内の就職希望先における採用試験でのインセンティブの提供（例：一次試験免除など）

Q 宮崎SPARCで学ぶと、どうして未来共創人材になれるの？

A 地域のニーズに基づいて育成する人材像とカリキュラムを設定しているからです

宮崎SPARCという教育プログラムの出発点は、地域のニーズにあります。宮崎県の特長や課題を分析したうえで「こうありたい」という地域の将来像を設定。「それを実現するにはどんな人材が必要か？」「その人材を育成するにはどんな教育プログラムが必要か？」と逆算していくことで、宮崎SPARCのカリキュラムが誕生しました。

■文理横断型のカリキュラム

宮崎大学、南九州大学、宮崎国際大学、宮崎学園短期大学が連携。社会を俯瞰的にとらえて将来像を描くために欠かせない総合的な知識を身につけるべく、文理横断型の新しいカリキュラムを設定しました。現代社会において不可欠な情報・データサイエンス分野についても、基礎を学ぶリテラシーレベルと、データサイエンスやAIなどを実践的に扱う能力を身につける応用基礎レベルの、2パターンの科目を整備しています。

	科目群	系列
教養教育科目	導入科目 16～20単位	大学教育入門セミナー
		情報・データリテラシー
		英語
		専門接続系
	課題発見科目 6～18単位	データサイエンス系
		人文・社会・芸術系
		自然・生命・技術系
		地域・国際・学際系
	未来共創科目 8単位	構想・デザイン系（キャリア教育含む）
		協働・創造系

※宮崎大学の場合

■未来共創科目

将来像を描くための力を磨く「構想・デザイン系科目」と、地域とともに未来を描き実現する力を身につける「協働・創造系科目」から構成される「未来共創科目」を、4年間にわたって展開します。

	構想・デザイン系科目	協働・創造系科目
1～2年次 (低年次)	● 地域を見る目、能動的に社会に向き合う姿勢・視座を学ぶ ● 幅広い、長期的な視点で社会課題に向き合う力を磨く	
2年次 (低年次)		● 学生同士だけではなく、企業人、地域と共に創る力を磨く ● 企業内、地域内の具体的な課題に対し、具体的な解決策を提示する力を身につける
3年次 (高年次)	● プロジェクトをデザインするために必要なスキルを身につける ● グループで革新的なプロジェクトを構築する力を磨く	● 地域を巻き込みプロジェクトをマネジメントする力を磨く
4年次	卒業研究	



地域キャリアデザイン I

宮崎県への理解を深め、
自身のキャリアを描く力を養う

「キャリアとは何か?」「どうやってキャリアを築くのか?」などを考える科目や、地域(宮崎)について研究するための手法を学ぶ科目、グローバル社会について学ぶ科目、それらを通して得た知識を活かしてプロジェクトを企画・運営する科目などで構成。学生生活や将来へのビジョンを描くとともに、課題を発見する力や解決に必要な視点、思考法などを身につけます。



Teacher's Voice



宮崎大学 学び・学生支援機構
共創人材育成部門
中山 隆 特別講師

「なりたい自分」に気づき、実現のための方法を考える

「地域キャリアデザインI(キャリア)」は、宮崎県内の企業や自治体、団体に活躍する方が講師を務め、仕事内容やチャレンジしていることなどを語ってもらう授業です。授業の目的の1つは、学生時代の過ごし方をデザインすること。講師の方々の話を聞きながら、自分は何がしたいのか、どんな人になりたいのかを掘り下げ、その実現に向けて学生時代をどう過ごすべきかを考えます。受講期間中に、スキルアップに向けた学外研修に参加する学生もいるなど、4年間の過ごし方に多大な影響を与えることのある科目です。対面式授業の際は他学部・他大学の学生と合同で受講する時間もあるため、新たな視点や刺激を得られることも大きなメリットです。

アントレプレナーシップ教育

地域を舞台に、
社会人とともに実践的に学ぶ

企業などでの長期インターンシップや、宮崎という地域フィールドを舞台にしたPBL(問題解決型授業)を通じて、アントレプレナーシップ(起業家精神)を身につけます。宮崎県内の大学・短大・高専生を対象とした「宮崎・学生ビジネスプランコンテスト(みやざきビジコン)」には毎年多数の学生が参加。宮崎の特色を生かしたビジネスプランを作成・プレゼンし、競い合っています。

Student's Voice

宮崎・学生ビジネスプラン
コンテスト参加「畜産×エコ」で宮崎と
地球環境に貢献

宮崎大学大学院 農学研究科 農学専攻
応用生物科学コース 修士1年
山崎 愛美華さん

長崎出身で、大学から宮崎に来ました。「宮崎に来て良かったと思う大学生活を送りたい」と考えていたところ、出会ったのがみやざきビジコンです。私は学部3年生のときに参加し、グランプリを受賞。九州大会とその後の全国大会へ進むことができました。その過程では多くの先輩起業家や起業をめざす同世代の学生に出会い、アドバイスをもらったり、たくさんの刺激を受けたりしました。参加時のテーマは、今も研究を続けている「微生物燃料電池」。家畜などの排泄物からエネルギーを作り出す技術で、畜産が盛んな宮崎にぴったりの技術です。4月には微生物燃料電池の普及や教育目的の会社を起業しました。技術を社会実装し、宮崎の産業や地球環境の保全に貢献することが目標です。

公募型卒業研究テーマ事業

卒業研究を通して、
宮崎の課題に取り組む

学生が卒業研究で取り組むテーマを、地域社会から広く募集する事業。一般社団法人高等教育コンソーシアム宮崎が実施し、令和6年度は21団体から28件のテーマが寄せられました。学生は卒業研究を通して、地域の企業や団体が抱えるリアルな課題に取り組むことができます。

研究テーマ例

- 辛いピーマンの辛みの特性についての検討
- 英語プログラムを通じた地域を活かした実践的な英語学習の統合
- イチゴの健全育苗成および養液栽培のための閉鎖型・養液栽培システムの検討
…etc.



Q どの大学が、どのようなプログラムを行っているの？

A 県内4大学が、各大学の特色を活かした教育を展開しています。

宮崎大学

- 教育学部
- 医学部（看護学科）
- 工学部
- 農学部
- 地域資源創成学部



【大学概要】

「世界を視野に、地域から始めよう」をスローガンに、地域から世界に向けた課題解決を探る国立大学。産業からビジネス、医療分野までカバーする5学部を設置しています。

【宮崎SPARCにおける取り組み】

総合大学の強みを活かし、「未来共創科目」など多彩な教養教育科目を設定。専門領域が異なる他大学の学生と協働して学べる連携開設科目も展開します。



「宮崎が好き」という気持ちを
将来につなげる科目を展開！



南九州大学

- 環境園芸学部
- 健康栄養学部（食品開発科学科）



【大学概要】

「ジツガク、No.1へ。」をモットーに、実学教育に注力。「食・緑・人」の専門分野を実践的に教育研究し、地域をフィールドにしたPBL科目などを通じて、地方創生の担い手となる専門家の育成に取り組んでいます。

【宮崎SPARCにおける取り組み】

教養教育を「基礎教育」「南九リベラルアーツ」「地域共生・グローバル」に分類し、大学での学びを確実にするためのスキルや分野横断する複合的な学びを展開。宮崎大学農学部と連携し、相互の強みを活かした連携開設科目を開講します。



食を守るスペシャリスト＆
環境を大切にできるプロになる！



Q 宮崎SPARCを受講するには？

A 大学・学部・学科ごとに受講対象者の要件が定められています。

宮崎大学

教育学部

教職実践
基礎コース

工学部

宮崎県
就職希望枠
選抜者

農学部

選抜者
(入学後選抜)

地域資源
創成学部

全学部生

医学部
看護学科

全学科生

宮崎国際大学

●国際教養学部



【大学概要】

外国人教員率全国2位を誇り、ほとんどすべての授業を英語で行っています。グローバルなキャンパスで、国際化に対応できる英語力とクリティカル・シンキング力の育成を目指しています。

【宮崎SPARCにおける取り組み】

英語による「リベラル・アーツ」教育と地域特性を生かした教育により、グローバルな視点とコミュニケーション・スキルを持った地域産業の国際化を担う人材を育成します。



国際コミュニケーションと
異文化理解に強みを発揮！



宮崎学園短期大学

●現代ビジネス科



【大学概要】

8つのコースを持つ現代ビジネス科では、専門性を深めながら興味・関心に沿って他コースの科目を組み合わせることで学ぶことが可能。目標のキャリアに直結する実践的な学びが展開されています。

【宮崎SPARCにおける取り組み】

数理・データサイエンス、AIなどの理系教育科目を拡充するほか、地域研究科目をPBL形式で実施します。県内の企業・団体と連携した共育型インターンシップも実施します。



イノベーションに挑戦する
基礎力を養います！



全学生が受講できる学部・学科もあれば、入学後に受講に向けた選抜試験が行われる学部・学科もあります。
4大学で合計約280人の修了者を目標に、学びの環境整備が進められています。

南九州大学

環境園芸学部
環境園芸学科

健康栄養学部
食品開発科学科

選抜者
(入学後選抜)

選抜者
(入学後選抜)

宮崎国際大学

国際教養学部
比較文化学科

選抜者
(入学後選抜)

宮崎学園短期大学

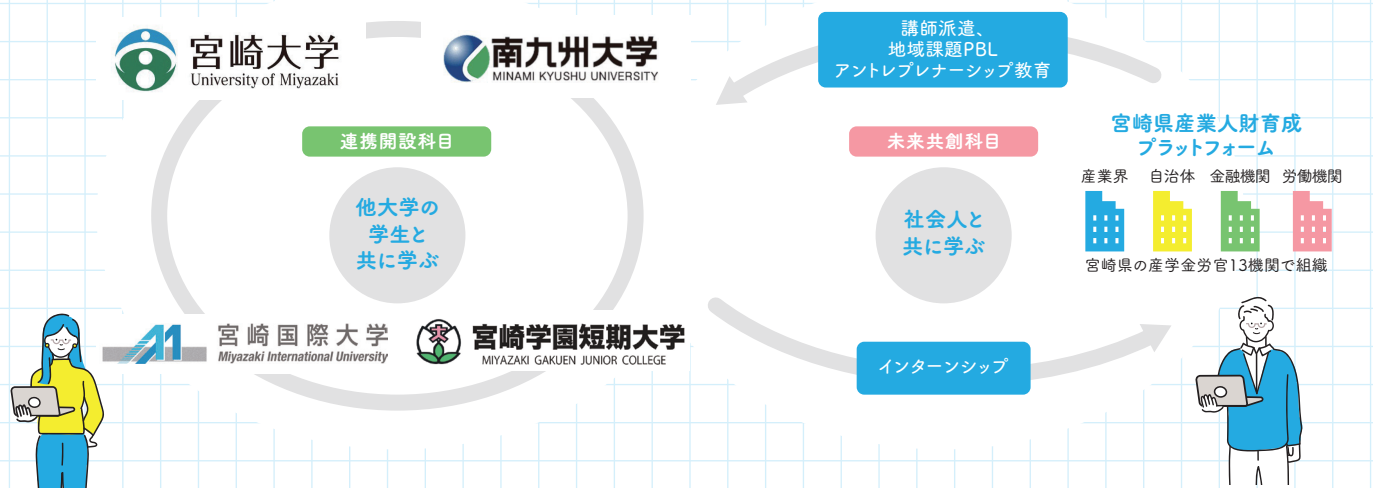
現代ビジネス科

選抜者
(入学後選抜)



宮崎SPARCは宮崎県内の様々な機関が連携し、 多様な学びの場を提供します

連携開設科目では、各参加大学の特色ある科目を他大学の学生が受講することができます。その1つ、未来共創科目では宮崎県内の産業界、自治体、金融機関、労働機関と連携して社会人とともに学ぶことにより、課題の発見や解決に必要な視点・手法・思考法、アントレプレナーシップなどを修得することができます。



連携開設科目

※今後変更になる可能性があります

教養教育科目	統計学の基礎 教養韓国語Ⅰ 「短歌県みやざき」ことばの力と牧水入門 生活デザイン・ものづくり概論 コミュニケーション英語Ⅰ	物理学の基礎 教養韓国語Ⅱ 製品開発・ものづくり概論 コミュニケーション英語Ⅱ	金融リテラシー講座 日向神話と神楽 亜熱帯薬食資源学 健康予防医学 コミュニケーション英語Ⅲ	教養ドイツ語Ⅰ 薬食同源学入門 プレゼンテーション技法 英語文学A	教養ドイツ語Ⅱ
	未来共創科目 地域キャリアデザインⅠ(キャリア) 地域キャリアデザインⅠ(地域) 地域キャリアデザインⅠ(プロジェクト設計) 地域キャリアデザインⅠ(国際) 地域キャリアデザインⅠ(総合知) SPARCプロジェクト実践演習Ⅰ(提案型) SPARCプロジェクト実践演習Ⅰ(実践型) 地域キャリアデザインⅡ SPARCプロジェクト実践演習Ⅱ(共創型) SPARCプロジェクト実践演習Ⅱ(起業型) SPARCプロジェクト実践演習Ⅱ(事業変革型)				
専門教育科目	マーケティング論Ⅰ 産学官連携マネジメント論	マーケティング論Ⅱ デザインプランニング	キャリアプランニング	デザインマーケティング	

宮崎SPARCの魅力はなんですか？

宮崎SPARCは、これまで宮崎大学が取り組んできた地域教育プログラム(COC・COC+)とは異なり、各参加大学における教育プログラムのうち、希望者(学科によっては所属全員)が受講できる教育プログラムです。

複数の科目が体系的に整理された教育プログラムで、座学、実習、オンライン型、プロジェクト型、インターンシップなど様々な形式の科目が用意されており、所属大学以外の学生と一緒に受講する科目であったり、他大学で開講されている科目を受講できたりするなど、これまでにない

特色のある学びが多数用意されています。

なお、受講者は、大学卒業に必要な取得単位数の一部を宮崎SPARCの科目で修得することになりますので、SPARCを受講していない学生と比較して過度な負荷がかかることはありません。また、受講できる学生の条件は大学や学部・学科によって異なり、選抜が課される場合があります。本プログラム修了者には、賛同いただける企業・自治体等の採用試験において試験が一部免除になる等、様々なメリットを準備していますので、今後も注目してください！



お問い合わせ

国立大学法人宮崎大学 学び・学生支援機構 総務係

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL:0985-58-7136(内線7136) Mail:gakusomu@of.miyazaki-u.ac.jp